

守ろう、平和と人権！ すすめよう、民主主義と共生！
憲法理念の実現をめざす第57回大会

人権を護る

「法の下での平等」実現めざして 護憲運動を継承していきこう！

全日本港湾労働組合
関西地方大阪支部
書記次長 横山 貴安基



2020年11月7日(土)～8日(日)、滋賀県大津市びわ湖ホールにて第57回護憲大会が開催され、参加しました。

今大会は新型コロナウイルスの影響から現地参加者は少数に絞られ、1500人収容のホールに200人足らずで、ウェブ配信を併用して行われました。

1日目前半、「敵基地攻撃論と日米軍事同盟強化」について、特に憲法9条に詳しい大学院教授や軍事評論家等からビデオ報告を受けました。安倍内閣がそれまでの政府の憲法解釈を変更し、個別的自衛権だけでなく集団的自衛権における武力行使を容認すると共に、国連による集団安全保障においても、自衛隊が今までとは違ったものになってしまうことです。

後半は「新型コロナウイルス感染症と日本の人権状況」について、弁護士や看護師、大学院教授等のパネリストが、憲法25条「生存権」に基づいて議論されました。「生存権」とは、その1項で「すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する」とされた権利です。

2日目は「憲法課題をめぐるとりくみ・各地からの報告」の後、「水俣病をめぐる状況」「女性の人権状況」「沖縄のたたかい」が報告され議論されました。最後に大会アピールとまとめがされ閉会しました。



憲法が守る いのちと人権

今回初めての参加でしたが、参加者の9割以上は60歳以上、いわゆる現役を引退された方がたがほとんどで、私やそれ以下の若年層の参加はほぼありませんでした。こういった事を受け、運動の継承がなされていない事も垣間見えました。

憲法と人権は強い関係性があり、本来憲法とは国を守るものではなく、人を、人権を護るものだと考えます。国は憲法9条改悪を目論みましたが、問題なのは憲法9条改正ではなく、日本の安全保障の在り方ではないでしょうか。日本は2度と戦争はしない、武力は持たないとされていますが、集団的自衛権を行使し、武力を持ち米国の機嫌取りをする事が人を守っていることになるのでしょうか。

また、今回水俣病で苦しみ現在も闘われている方がたの話を知れば、水俣病の診断をされたにもかかわらず、その地域から少し離れたことで認定されなかった人が多くいます。国の責任が認められたのに全ての被害者が平等とされないのです。憲法14条で「法の下での平等」をうたっていますが、病気や差別、貧困といったものがこの世に存在する限り完全な平等にはなりません。

護憲運動の 継承を！

少しでも完全な平等に近づこうと人びとはそれに向かって進まなくてはなりません。しかし、現在政府は法的解釈を変え、人を護ることができない憲法へと向かおうとしているように見えます。

憲法14条や25条で私たちは護られている一方、現在この世の中は矛盾だらけである事は明らかです。その矛盾をなくし、憲法を護るたたかいをする運動を先人から継承し、後世へも継承し、日々「憲法と人権」の結び付きを考えながら学習して、運動を継続しなければなりません。





激変！名古屋支部役員

BEFORE AFTER

今回は名古屋支部から衝撃の報告が届きました！
 労働運動に邁進する忙しい日々が続きますが、
 皆様もふと周りに目を向けてみると思わぬ発見があるかも！？

皆さま、ご機嫌いかがでしょうか。名古屋支部書記長西脇です。
 現在、新型コロナウイルス感染拡大防止の為、顔を合わすことも
 少なくなりましたが、日々労働運動に邁進しているものと思われ
 ます。

私たち名古屋支部でも、この度、全国闘争になりました日興サー
 ビスでの日検直接雇用闘争含め、様々な運動を通じて学習してお
 ります。

しかし、労働運動は苦しい事が多く失敗ばかりですが、面白い
 と感じる事を見つけ楽しみながら労働運動に取り組んでいます。

今回は様々な所で活躍している支部役員の **Before After** を
 紹介します。

まずは、私西脇ですが、**2009年(写真①)** から**現在(写真②)**
 の変化は身体が大きくなり、体重が20kg以上増えて現在85kg
 となっております。

続いては、藤井副委員長ですが、**現在(写真④)** は賃禄がかな
 りありますが、**2010年(写真③)** ではシュツとした好青年です。

おわかりいただけたらどうか、労働運動は人を変える。
 今月の一言は「今超える、限界こそが、己が糧」。
 それでは、労働運動で素敵な生活を、ナマステー。

BEFORE
2009年

西脇書記長



①

②

AFTER
現在



BEFORE
2010年

AFTER
現在

藤井副委員長

④



2020. 8. 29

③



冬本番！寒さにまけず
 来年も皆で力を合わせて
 がんばっていきましょう！